

教科名		<p style="text-align: center; font-size: 2em;">芸 術</p>	科目名 (必) 必選・自選	単位数	単 位
			音楽 I		
使用教科書		Music View I 教育出版	対 象	1学年	
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声法を理解し、歌唱に親しむ。</li> <li>・様々なジャンルの音楽への興味・関心を育む</li> </ul>	担当者	斉藤	
学習内容			時間配当	教 材 等	
授業の内容と主な教材	一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声法</li> <li>・歌唱 校歌 ポップス 混声3部合唱</li> <li>・鑑賞</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書</li> <li>・ 校歌プリント</li> <li>・ 鑑賞カード</li> <li>・ 各種プリント</li> </ul>
	二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声法</li> <li>・歌唱 混声3部合唱</li> <li>・鑑賞</li> <li>・音楽史</li> </ul>		計26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書</li> <li>・ 各種プリント</li> <li>・ 鑑賞カード</li> </ul>
	三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱 ポップス</li> <li>・器楽</li> <li>・鑑賞</li> </ul>		計28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書</li> <li>・ 各種プリント</li> <li>・ キーボード</li> </ul>
評価のポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を理解しようとする意欲が見られるか。</li> <li>・課題やプリントにしっかり取り組んでいるか。またその完成度はどうか。</li> <li>・真剣に取り組んでいるか</li> <li>・積極的に参加しているか。</li> </ul>			
				計16	

教科名		<p style="text-align: center; font-size: 2em;">芸 術</p>	科目名: <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必</span> 必選・自選	単位数	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">2</p>
			美術 I		
使用教科書		高校生の美術1 日本文教出版	対 象	1学年	
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものを描く、色を使うなどの表現力の基礎を身に付ける。</li> <li>・感性を磨き、美的なものに気がつく力を高める。</li> <li>・作品を最後まで仕上げる忍耐力をつける。</li> </ul>	担当者	塚本・柴田	
学習内容			時間配当	教 材 等	
授業の内容と主な教材	一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の分野を知る(芸術の中の美術、アートとデザインの違い)</li> <li>・デザイン的に意図した配色</li> <li>・デッサン</li> <li>・色彩</li> <li>・平面構成</li> </ul>			鉛筆等 絵具等
	二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面構成</li> <li>・半立体作品制作</li> </ul>		計 26	鉛筆等 絵具 彫刻刀
	三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立体造形</li> </ul>		計 28	木材等
				計 16	
評価のポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい手法にチャレンジしたり、前回の反省を生かすなど、造形能力を高めるような努力が見られたか。</li> <li>・美しさや美的なものに対する関心を高め、よりよいものを追求しようとする事ができたか。</li> <li>・作品を最後まで仕上げる事ができたか。</li> </ul>			

教科名		芸術	科目名(必) 必選・自選	単位数	2	単位	
			書道 I				
使用教科書	東京書籍 書道1		対 象	1学年			
科目の目標	書写能力を高める。		担当者	石井			
学習内容			時間配当	教材等			
授業の内容と主な教材	一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書に親しむ</li> <li>・用具用材について</li> <li>・姿勢、筆の持ち方</li> <li>・書写から書道へ</li> <li>・基本用筆</li> <li>・楷書の練習</li> <li>・楷書の臨書</li> </ul>			教科書 プリント		
	二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・龍門石窟、漢字の成立</li> <li>・楷書の用筆法</li> <li>・古典臨書</li> <li>・行書の用筆と特徴について</li> <li>・行書の臨書</li> <li>・蘭亭序の練習</li> </ul>		計26	教科書 プリント		
	三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かなの成立と発達</li> <li>・かなの基本用筆</li> <li>・平仮名、変体仮名の練習</li> <li>・連綿の練習</li> <li>・蓬莱切練習</li> </ul>		計28	教科書 プリント		
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書に親しむ心を養い、書写能力を高める。</li> <li>・書の表現と鑑賞の能力を伸ばす。</li> <li>・文字を正しく整えて書き、授業態度を重視する。</li> </ul>						計16

教科名		<p style="text-align: center; font-size: 2em;">芸 術</p>	科目名: 必 <sup>○</sup> ・ <u>必選</u> ・自選		単 位 数	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">2</p>	単 位
			音 楽 II				
使用教科書		MOUSA II 教育芸術社		対 象	2学年		
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞を深く理解し、歌唱に親しむ。</li> <li>・基礎的な楽典を理解する。</li> </ul>		担当者	斉藤慎		
学習内容				時間配当	教 材 等		
授業の内容と主な教材	一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声法</li> <li>・歌唱 校歌</li> <li>ドラムセット入門</li> <li>混声3部合唱</li> <li>・楽典 楽譜の読み方</li> <li>・鑑賞</li> </ul>			教科書 プリント 鑑賞カード		
				計26			
	一 二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声法</li> <li>・歌唱</li> <li>器楽演奏</li> <li>混声3部合唱</li> <li>・音楽鑑賞</li> <li>・音楽史</li> </ul>			教科書 プリント 鑑賞カード キーボードなど		
			計28				
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱 ポップス</li> <li>・混声3部合唱</li> <li>・音楽鑑賞</li> </ul>			教科書 プリント 鑑賞カード			
			計16				
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を理解しようとする意欲が見られるか。</li> <li>・課題やプリントにしっかり取り組んでいるか。またその完成度はどうか。</li> <li>・真剣に取り組んでいるか</li> <li>・積極的に参加しているか。</li> </ul>						

教科名		<p style="text-align: center; font-size: 2em;">芸 術</p>	科目名: 必(必選)自選		単位数	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">2</p>	単位
			美術Ⅱ				
使用教科書		高校美術2 日本文教出版		対 象	2学年		
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な素材を扱い、表現力の基礎を身に付ける。</li> <li>・様々な素材に触れ、感性を磨き、美的なものに気がつく力を高める。</li> <li>・作品を最後まで仕上げる忍耐力を付ける。</li> </ul>		担当者	塚本		
				時間配当	教 材 等		
授業の内容と主な教材	一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・点描画</li> </ul>				鉛筆 ペン	
	二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・染色</li> <li>・シルクスクリーン</li> <li>・半立体造形</li> </ul>			計26	染色液 版画セット 木彫等	
	三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立体造形</li> <li>・一年のまとめ</li> </ul>			計28	立体造形	
					計16		
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい手法にチャレンジしたり、前回の反省を生かすなど、造形能力を高めるような努力が見られたか。</li> <li>・美しさや美的なものに対する関心を高め、よりよいものを追求しようとする事ができたか。</li> <li>・作品を最後まで仕上げる事ができたか。</li> </ul>						

教科名		<p style="text-align: center; font-size: 2em;">芸 術</p>	科目名: 必 <del>選</del> ・自選		単位 数	単位  2
			書道Ⅱ			
使用教科書		書Ⅱ(光村)		対 象	2学年	
科目の目標		表現力を高める。		担当者	石井	
学習内容				時間配当	教 材 等	
授業の内容と主な教材	一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな表現の工夫</li> <li>・漢字の書</li> <li>・楷書の練習</li> <li>・楷書の古典臨書</li> <li>・二字臨書</li> <li>・四字臨書</li> </ul>			教科書 プリント	
				計26		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行書の基本用筆について</li> <li>・行書の臨書</li> <li>・隸書について</li> <li>・隸書の練習</li> <li>・篆書について</li> <li>・篆書の練習</li> </ul>			教科書 プリント	
				計28		
	三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名の書について</li> <li>・基本用紙の確認</li> <li>・仮名の連綿と散らし書き</li> <li>・紙面構成を学ぶ</li> </ul>			教科書 プリント	
				計16		
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道Ⅰの学習をもとに、更に表現と鑑賞の力を高める。</li> <li>・正しい古典臨書と、授業態度を重視する。</li> </ul>					

教科名		芸術	科目名: 必 <sup>○</sup> ・必 <sup>○</sup> 選・自選	単 位 数	単 位
			デザイン		2
使用教科書			対 象	2学年	
科目の目標		・デザインについての理解を深め、個性豊かな活動を行う。	担当者	三沢	
学習内容			時間配当	教 材 等	
授業の内容と主な教材	一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・仕掛けカード制作 伸びるイラストレーション ポップアップカードを作る</li> </ul>			ワークプリント 色鉛筆 画用紙 ケント紙
	二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模様のデザイン / リピテーション</li> <li>・オリジナルキャラクターを作る</li> </ul>		計26	ワークプリント 色鉛筆 ペン・マーカー 画用紙 ケント紙
	三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共ポスター制作</li> </ul>		計28	ワークプリント 色鉛筆 ペン・マーカー 画用紙
				計16	
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの個性を生かした作品作りができたか。</li> <li>・美的なものに敏感に反応し、興味をもつ事ができたか。</li> <li>・授業に積極的に参加できたか。</li> </ul>				